



令和3年度

4月補正予算(第2号)主な補正内容

1. 第11次新型コロナウイルス感染症対策(追加)

2. 令和3年福島県沖地震対応関連(追加)

補正予算額(一般会計)

3億 820万円

単位:千円

事業費 合計	財源内訳			
	国	県	その他	一般財源
308,200	193,000	103,500	-	11,700

【参考】予算累計額(一般会計)

1,164億3,310万円

1. 第11次新型コロナウイルス感染症対策(追加)

補正予算額(一般会計)

1億9,300万円

単位:千円

事業費 合計	財源内訳			
	国	県	その他	一般財源
193,000	193,000	-	-	-

第11次 新型コロナウイルス感染症対策

支援策		時期	第10次(令和3年度当初予算)	第11次(3/23発表) (4/22追加)
第1の柱 感染防止対策			<ul style="list-style-type: none"> ●PCR検査体制の強化 ●発熱外来、新型コロナ診察医療機関への支援 ●子育て支援施設・学校の感染防止対策 ●コロナ禍に対応できる避難所対策 	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナワクチン接種事業 ●新たなビジネスモデル創出支援事業を追加し、感染防止対策等を支援
第2の柱 市民生活支援			<ul style="list-style-type: none"> ●住居確保給付金 ●新型コロナ入院医療費公費負担 ●迅速かつ的確な情報発信 ●妊産婦PCR検査、オンラインによる相談支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●ふくしま市民生活エールクーポン ●低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(第1弾)
第3の柱 地域経済対策				
	①事業者支援		<ul style="list-style-type: none"> ●緊急経済対策資金融資制度利子補給 ●地域公共交通支援事業 	
	②地域経済回復		<ul style="list-style-type: none"> ●街なか空き店舗入居者家賃補助 ●街なか空き店舗出店支援事業 ●商店街等活性化イベント支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●ふくしま市民生活エールクーポン(再掲)
第4の柱 「新しい生活様式」に対応した社会の形成 (コロナ後を見据えた変革)			<ul style="list-style-type: none"> ●オンライン配信ビジネス支援事業 ●「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援事業 ●ものづくりNEXTチャレンジ支援事業 ●ふくしま定住推進事業 ●公共施設予約システム導入 ●電子町内会モデル事業 ●子育て支援施設へのICT導入支援 ●シェアサイクル導入 ●窓口手数料のキャッシュレス化 ●相談業務・会議のオンライン化 	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい生活様式に対応したビジネスモデル創出への支援(再掲)

新型コロナウイルス感染症対策【これまでの経過】

第1次（令和2年3月23日発表：3月23日議決）

不織布マスク等の購入支援、ピンチをチャンスにプロジェクト、信用保証料補助 など

第2次（4月9日発表：予備費充用）

地域でマスクを作って学校応援プロジェクト、旅館業への温泉使用料・水道料金の減免 など

第3次（4月22日発表：4月30日議決）

医療機関への特別給付金の給付、医療資材の提供、特別定額給付金の早期支給 など

第4次（5月22日発表：6月1日議決）

ふくしま市民生活エールクーポン、新しい生活様式に対応したビジネスモデル創出支援 など

第5次（6月22日発表：6月30日議決）（7月27日発表：7月31日議決）

ICT導入による市内保育施設・幼稚園の「新しい生活様式」への対応支援 など

第6次（8月25日発表：9月18日議決）

庁舎窓口キャッシュレス決済の導入、庁内Wi-fi環境の整備 など

第7次（10月15日発表：10月20日議決）

冬季に向けた医療体制の充実、「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援 など

第8次（11月19日発表：12月15日議決）（12月専決、予備費充用）

ICTを活用した「福島型オンライン授業」開始に向けた学習環境の整備、医療機関緊急支援など

第9次（令和3年1月14日発表）（2月専決）（3月補正前倒し）

高齢者等入所施設の感染防止対策強化、事業者営業継続緊急支援、クリエイティブビジネスサロン整備など

第10次（令和3年度当初予算）

感染防止対策、市民生活支援、地域経済対策、コロナ後を見据えた変革 計92事業

第11次（3月23日発表）（4月22日追加 1億9,300万円）

新型コロナワクチン接種、ふくしま市民生活エールクーポン、新たなビジネスモデル創出支援
低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金

令和元年度・令和2年度

382億5,600万円

（一般財源 46億7,400万円）

13億900万円

（一般財源 10億2,600万円）

39億1,100万円

（一般財源 7億4,300万円）

新型コロナウイルス感染症対策 累計額

（新型コロナウイルス地方創生臨時交付金 交付決定見込額 41億4,648万円）

434億7,600万円

（一般財源 64億4,300万円）

第11次 新型コロナウイルス感染症対策

第2の柱 市民生活支援 1事業 193,000千円

低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金

(ひとり親世帯分) 事業費:193,000千円

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、その実情を踏まえた生活の支援を行うため、児童扶養手当を受給する世帯や、収入が基準以下に減少している世帯に対し、生活支援特別給付金を早期に給付します。

なお、ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯(ふたり親世帯)に対しては、現在、国において別途、支給方法を検討中のため、制度が決定次第、早期に対応します。

(1)対象者 ※令和2年度のひとり親世帯臨時特別給付金と同様

対象者(低所得のひとり親世帯)	手続き
①令和3年4月分の児童扶養手当受給対象の方	申請不要
②年金等を受給していることにより児童扶養手当の支給を受けていない方	申請必要
③新型コロナの影響で家計が急変し、児童扶養手当受給者と同じ水準になっている方	

(2)給付額:児童1人当たり5万円

(3)支給開始日及び申請受付

対象者①の方は4月28日に手当を支給予定

対象者②・③の方は5月上旬から申請受付開始予定

2. 令和3年福島県沖地震対応関連(追加)

補正予算額(一般会計)

1億1,520万円

単位:千円

事業費 合計	財源内訳			
	国	県	市債	一般財源
115,200	—	103,500	—	11,700

※令和2年度補正予算(第15号)(3月5日議決)10億2,580万円

令和3年度補正予算(第1号)(3月25日議決)1億690万円と合算すると

累計予算額 12億4,790万円

1. 被災者支援関連

一部損壊住宅修理支援事業

補正額 115,200千円

令和3年福島県沖地震により、住宅に「一部損壊」が生じた世帯を対象に、日常生活に不可欠な部分の修理に要する費用の一部を定額で補助します。

【補助対象の方】

以下①、②、③のすべてに該当する方

①令和3年度福島県沖地震により被害を受けた住宅に居住し、罹災証明が「一部損壊」の方

②消費税込みで20万円以上の修繕工事を実施した方

③自らの資力では修理できない方

【補助額】

定額 10万円

【補助対象となる修理】

壊れた屋根、外壁、基礎、柱、梁など、日常生活に不可欠な部分の応急修理

(参考)

区分	(罹災証明)	補助金額
(1) 住宅応急修理	・半壊以上 (20%以上の被害)	595,000円 (上限)
	・準半壊 (10%~20%未満の被害)	300,000円 (上限)
(2) 一部損壊住宅 修理	・一部損壊 (10%未満の被害)	100,000円 (定額)

(1)については、3月5日議決の令和2年度補正予算第15号で
予算措置済み(196,000千円)